

## 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

老後はどこに誰と住む  
～お金のことは抜きに考えてみる～

発行者：牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和

牧野FP事務所 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

### <第 507 号の目次>

#### ■ 今週のテーマ

老後はどこに誰と住む  
～お金のことは抜きに考えてみる～

#### ■ 「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

#### ■ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

#### ■ 編集後記

それでは、  
今週のテーマからはじめます。

\*\*\*\*\*

#### ■ 今週のテーマ

老後はどこに誰と住む  
～お金のことは抜きに考えてみる～

\*\*\*\*\*

「お金のことは考えないで、  
ご自身の人生を描いてください！」

私は、ライフプランニング（人生設計）の  
講演をすることがあります。

この講演の中で、聴講の皆さんが、  
私が開発したシート「人生の行程表」に、  
お金のことは考えないで、  
思い描いている人生を  
書いていただくことがあります。

ここには、実現の可否を問わず、  
思っていることは、  
なんでも、書き込んでいいのです。

従って、大変ユニークな内容もあります。

そのうち、将来、どこに誰と住むのか、  
といった課題についても、

現実的な内容から、  
実現するには相当な準備が必要な内容も  
あります。

そこで、今回は、  
老後の人生を決めかねている方に向けて、  
どこに誰と住むか、

「人生の行程表」に描かれた内容を、  
個人が特定できないように、  
書き出してみました。

まだ、老後の人生を決めかねている、  
特に、40代からリタイアまでの方の、  
参考になれば幸いです。

---

お金のことは考えてはいけません

---

くどいようですが、ここでは、

- ・住宅ローンをいつまでいくら返済する
- ・退職金はいくらになるのか
- ・年金はいくらもらえる

といった、お金のことは考えません。

なぜなら、通常、私たちは、  
お金のことを考えてから行動します。

そのために、やりたいことがあっても、  
お金は足りるかと思えばぐね、  
行動に移せないことがあります。

また行動できても、家計のことを考え、  
お金の工面をしてからのこともあります。

ただ、人生の時間は限られています。

自活して生活できる「健康寿命」は約 75 歳と、  
いられています。

そこで、ご自身の思い描いた通りの人生を  
実現するには、  
紆余曲折があることは承知の上、  
現実的なお金のことを考える前に、  
あえて、ご自身が描いていることを、  
すべて、書き出してみるのです。

---

## どこに住む

---

では始めましょう。  
最初に、将来、どこに住むのかです。

- ・ 一生涯現在の持ち家
- ・ 自分か配偶者の実家の近くに引越す
- ・ 自分か配偶者の実家に戻る
- ・ 退職後は出身地に帰る
- ・ 生涯、今住んでいる地域から動かない
- ・ 生涯、賃貸で暮らす
- ・ 住んでみたかったところに引越す
- ・ 国内の田舎に移住する
- ・ 海外に移住する
- ・ 街中に引越す
- ・ 郊外に引越す
- ・ 戸建てからマンションの一室に引越す
- ・ マンションから土いじりができる戸建てに住む
- ・ 小さな家に引越す
- ・ 子どもが住んでいるところに引越す
- ・ 老人ホームに入居する
- ・ シェアハウスで生活する

といった思いを描いてみえます。

次に、ではそこには誰と住むのか、  
描いてもらっています。

---

## 誰と生活するの

---

では、誰と住むかです。

- ・ 夫婦
- ・ 夫婦の片方が亡くなったら単身で住み続ける
- ・ 夫婦の片方が亡くなったら子どもと同居
- ・ 夫婦と子どもの家族と同居
- ・ 夫婦と夫婦のどちらかまたは両方の親と同居
- ・ 夫婦と夫婦のどちらかまたは両方の親族と同居
- ・ 夫婦、親、子どもの三世代
- ・ 夫婦のまま別居（※）
- ・ 離婚して単身
- ・ 夫婦と孫
- ・ 単身
- ・ 夫婦と夫婦の兄弟

これ以上は、  
プライベートな部分になりますので、  
記載は差し控えます。

なお、夫婦のまま別居（※）とは、

夫婦が、一軒の家に住むことなく、  
別々の家に住むことです。

同じ町内に住むこともあれば、  
自宅と別荘に住むこと、  
夫婦のどちらかがまたは夫婦とも、  
出身地に戻ることに、  
国内外を問わず住みたいところに  
住むこともあるがあります。

夫婦の仲が悪いのではなく、  
夫婦の考えや  
夫婦を取り巻く環境からのようです。

---

変わっても軸がある

---

どこに住むかも、誰と住むかも、  
将来、その時のご自身や夫婦。  
時には、独立したはずの子ども、  
それに親族といった、  
まわりの状況によって、  
変えることもあるでしょう。

ただ、ご自身が、  
どのようにどこに誰と住みたいのか、  
思い描いていることを書いていけば、  
それが軸となり、  
その時々の変化を、  
受け入れることは容易になることでしょう。

この「軸になる」点は、重要なことです。

ただ、まずお金を考えないで描くことが  
できていないと、  
合点のいかないお話になります。

従って、「軸になる」のお話は、  
次回以降にいたします。

---

書き出すと夢が広がる

---

「人生の行程表」は、  
ここまでお話してきたの将来の住宅のほかにも、  
趣味や旅行といった思っていることを  
すべて描きます。

たとえ夫婦でも、  
まずは一人ずつ書いて、  
その後、お互いに見せ合います。

そして、描いた内容を予算して、  
実行していきます。

今回は、  
誰もが考えるであろう、  
老後は、どこに誰と住むかを例に、

お話を進めてきました。

書き出せば、  
夢はどんどん広がっていくものでもあります。

なぜなら、  
お金のことは考えていないからです。

\*\*\*\*\*  
■「人生の添乗員（R）」からのワンポイントメッセージ  
\*\*\*\*\*

夢を持っていない人は、

誰もいません！

ただ、その夢の実現の仕方が

わからない人は、

いるようですね！？

\*\*\*\*\*  
■人生の添乗員（R）牧野寿和のプロフィール  
\*\*\*\*\*

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

創業 19 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、  
日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。  
そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、  
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。

2018年から牧野FP事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ1100件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

#### <保有資格>

- ・NPO法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者
- ・1級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・福祉住環境コーディネーター
- ・総合旅行業務取扱管理者 など

#### <取材協力>

メ〜テレ（名古屋テレビ）「UP！」

#### <執筆>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！  
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

#### <監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談は、名古屋市内はもとより  
愛知、岐阜、三重県、  
首都圏や関西にも  
リモートでお会いする機会が増えました。

「人生の添乗員（R）」は、

他人を気にすることなく、  
相談者ご自身にとって  
有益な提案を心がけています。

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

#### ■編集後記

\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:\*:

お金は、

明確に実現したいことがあれば、

それを、支援してくれます！？

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

来週も、ご愛読の程、  
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

---

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和  
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。  
こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで  
お願いいたします

E-MAIL : [makino.fp@beach.ocn.ne.jp](mailto:makino.fp@beach.ocn.ne.jp)

---

牧野FP事務所合同会社 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。  
ご自身の責任でご判断下さい。

---